

# 短大生の社会性における自己評価に関する実態

原田まつ子、加藤由美子、谷井 涼子、黒田 圭一

Self-evaluation to sociality of junior college students

Matsuko HARADA, Yumiko KATO, Ryoko TANII, Keiichi KURODA

Youth is important as a transitional period for independence to be adults for young people. They are needed to become independent financially and socially. However, it's has been that it is difficult for them to that in recent years.

Moreover, it is said that most college students have no conscious of the fact that they are adults. Their parents can't teach them manners and responsibilities of adults in the home. For these reason, college and junior college should teach not only courses of studies but also manners and morality.

In this college, we have educated students for practice outside the school by good ways and means. For example, students who are often late or absent from lectures are told how many times they have been late or absent and teacher advise them on attitude in class. However, it is far from easy for students to get a sense of starting their adult life.

Therefore in this major course, we carried out a project to let students acquire social and attitude. The goal of the project is sending graduates who will be sociable dietitian. We attached importance to ideal attitude, personal appearance and using beautiful words. This follows the spirits of our college : politeness, effect and honesty. The following are products and finding about sociality of students in this major course.

## I 緒言

青年期は、大人へ自立の移行期として重要である。しかし、近年、社会的・経済的に生活の自立を求められるこの時期の世代が、大人になりきることの難しさが言われている<sup>1), 2), 7)</sup>。また、大学生の多くが、大人としての意識が薄れているとも言われ<sup>4), 5), 6)</sup>、本来、学生のしつけや自己責任に関わること（モラルやマナーについても<sup>7)</sup>）までも、家庭には期待できなくなってきた。そのため、大学・短大は学習面だけでなく、社会性や道徳心についても習得させる必要性が出てきた。

本学でも、欠席や遅刻の回数に応じての学生指導カードを活用し、授業中の態度については注意を促し、栄養士校外実習を意識しながらの対応をしてきた。しかし、現状は徹底できていない状態である。

そこで、本専攻では、栄養士養成として、社会性のある卒業生を社会に送り出すために、本学の精神でもある「礼儀」、「努力」、「誠実」に沿って「授業準備・授業中の態度」「学生としての身だしなみ」、「言葉づかい」等について、重点的に指導・徹底することを目的に、社会性・モラルを習得させるための試みを実施した。その結果を現在の実態として報告する。

## II 方法

### (1) 調査対象

食物栄養専攻学生 1年生85名 2年生89名 計174名

### (2) 調査時期

2009年4月から10月

### (4) 調査方法

退学した者および長期欠席者を除いた165名を対象として分析を行った。4月のオリエンテーション時に、学生自身の現状を把握させるために、授業前後の挨拶や授業に取り組む態度等25項目（表1）への自己評価チェックシートを配布し、記入させた。その際、規律ある生活態度を習得する目的で、各項目内容について意識することとそれに対する自己評価チェックシートの記入の継続について明確化した。

自己評価チェックシートは、4月実施後、7月、10月の3回行い、総合演習時に記入させた。また、挨拶の方法を対象者に実施させたところ、きちんとできている学生が少なかったため、おじぎの角度、目線等の説明をし、今後の授業前後に行うことを話した。

本専攻の授業に関わる教員8名（常勤4名、非常勤4名）に対し、今回の取り組みについて実施の依頼を

行った。

自己評価は、「毎日実施」を4点、「4～3日/週」を3点、「2～1日/週」を2点、「全くできなかった」を1点と点数化し、総合計を100点とした。

3回の自己評価表の記入後、担当した教員に対して、授業全体を通しての観察状況を自由記述として提出してもらった。

表1 自己評価チェックシート ( )月 ( )年( )クラス 氏名

	評価基準 4:毎日実施, 3:4~3日/週, 2:2~1日/週, 1:全くできなかった 上記に当てはまる評価基準を、各項目について記入欄に○をす	記入欄			
		4	3	2	1
マナー (態度・言葉づかい・身だしなみ)	1 学内で最初に会った時、「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」と言う				
	2 学内で会った人に会釈をする				
	3 研究室等に入る時、ノックをし、返事を確認してから入室する				
	4 目上の人と友人に対して区別するよう心がけている				
	5 目上の人に敬語を使っている				
	6 学生として清潔な身だしなみにしている				
	7 髪の毛の色は染めていない				
	8 爪は切って、マニキュアをしていない				
授業準備・授業への取り組み	9 授業開始前に、受講する体制になっている				
	10 携帯電話の電源は切って、バッグにしまっている				
	11 机の上(飲食物、バッグ等)片付けてある				
	12 トイレを済ませ、コート・マフラー・帽子等は脱いでいる				
	13 授業開始(5)分前に着席しておく				
	14 不必要なお喋りを慎んでいる				
	15 姿勢を正している				
	16 挨拶後に後片付けをしている				
	17 予習をしている				
	18 課題は期限を守っている				
19 提出物は丁寧に記入している					
生活	20 グループワークに積極的に参加している				
	21 3食規則正しく食事をしている				
	22 朝食を摂っている。(菓子・果物・飲み物等の単品は除く)				
	23 時間の余裕を持って行動している				
	24 問題が起きた時に対応している				
	25 相手の立場に立って物事を決められている				

表2 指導期間後の学生の評価(教員用)のまとめ (n=8)

区分	自由記述
マナー(態度・言葉づかい・身だしなみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>会った時に挨拶をするのは、4月から変わらない(だいたいしている)</li> <li>比較的清潔な身だしなみにしている</li> <li>教員や目上の人と学生の区別ができていない</li> <li>敬語は使える学生と使えない学生がいる</li> <li>2年生の髪の毛の色は、ほとんど気にならない程度</li> <li>学生らしい髪の毛の色である</li> <li>マニキュアをしている学生としていない学生がいる</li> </ul>
授業準備・授業への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスにより授業準備の体制に差がある</li> <li>ケイタイは取り上げた</li> <li>ケイタイの電源は切らず、万モードにしている</li> <li>実習白衣のポケットに入れてある</li> <li>一番前でもずっとメールをしている学生がいる</li> <li>注意しても平気でおしゃべりしている人がいる</li> <li>注意をした時だけ静かになる</li> <li>課題提出を守らない学生がいる</li> <li>ほぼ丁寧に書いているが、慌てて書いて丁寧でない学生もいる</li> <li>予習をしているのかどうかかわからないが、授業の際、先週の復習を必ずする</li> <li>予習はしていない</li> <li>トイレなのか?何も言わずにいなくなることもある</li> <li>授業開始後、10分位でトイレに行く学生がいる</li> <li>テキストや他の忘れ物をする学生がいる</li> <li>グループ学習の参加は、グループ構成員による</li> <li>グループ学習に参加する学生としない学生がいる</li> <li>コートを着たままで受講している学生がいる</li> </ul>

\*「生活に関すること」は、自己評価のみとした

### (3) 分析

解析ソフトHALBOUを用い、学年別、月別の各設問項目は $\chi^2$ 検定、「マナー(態度・言葉づかい・身だしなみ)」・「授業準備・授業への取り組み」・「生活」について総合的に点数化したものはt検定により分析を行った。

## III 結果および考察

### 1) マナー(態度・言葉遣い・身だしなみ)に関する学年別・月別変化

表3-1に示すとおり、全体で設問『学内で最初に会った時、「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」と言う』・「目上の人と友人に対して区別するよう心がけている」・「目上の人に敬語を使っている」・「学生として清潔な身だしなみにしている」・「爪は切って、マニキュアをしていない」は、全学年の全期間にかかわらず約70%以上が「3～4日/週(以下 iii とする)」・「毎日実施(以下 iv とする)」と自己評価していた。

月別に見ると、設問「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」と言うの、4月と7月を比べると、「全くできなかった」(以下 i とする)・「1～2日/週(以下 ii とする)」と自己評価した者が、4月(3.6%・21.2%)、7月(1.2%・11.5%)で、4月に比べ7月は減少し、有意差が認められた( $p=0.017$ )。

設問「学内で会った人に会釈をする」について、4月と7月を比べると、i・iiと自己評価した者が、4月(12.1%・23.6%)、7月(3.6%・10.9%)で、設問『学内で最初に会った時、「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」と言う』と同様に4月に比べ7月は減少している傾向であった( $p<0.001$ )。

設問「研究室等に入る時、ノックをし、返事を確認してから入室する」の、4月と7月を比べると、i・iiと自己評価した者が、4月(15.8%・6.7%)、7月(1.8%・5.5%)と4月に比べ7月はできていないと自己評価している者が減少していた( $p<0.001$ )。

設問「髪の毛の色は染めていない」について4月と7月を比べると、i・iiと自己評価した者が、4月(32.7%・9.1%)、7月(20.0%・3.0%)と、4月に比べ7月はできていないと自己評価している者が減少傾向であった( $p=0.04$ )。

学年別に見ると1年生では、設問『学内で最初に会った時、「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」と言う』が4月と7月を比べると、i・iiと自己評価した者が、4月(6.0%・22.6%)、7月(2.4%・8.3%)と、4月に比べ7月はできていないと自己評価している者が減少していた( $p=0.017$ )。

設問「研究室等に入る時、ノックをし、返事を確認してから入室する」について4月と7月・10月を比べると、i・iiと自己評価した者が、4月(26.2%・6.0%)、7月(2.4%・4.8%)、10月(3.6%・9.5%)といずれも、4月に比べ、できないと自己評価した者が減少していた( $p<0.001$ ・ $p<0.001$ )。

設問「学生として清潔な身だしなみにしている」に

については、4月と7月を比べると、i・iiと自己評価した者が、4月(2.4%・11.9%)、7月(4.8%・1.2%)と4月に比べ7月はできていないと自己評価した者が減少していた(p=0.041)。

以上のことから、1年生のマナーにおいては、4月に比べ7月は、挨拶や入室時の態度・学生としての身だしなみに心がけることができるようになってきたことが考えられる。

2年生では、「髪の毛の色は染めていない」以外の項目においては、全期間を通して約80%がiii・ivと高い自己評価をしていた。

月別に有意差のあった項目について見ると、設問「髪の毛の色は染めていない」については、4月と7月・10月を比べると、i・iiと自己評価した者が、4月(21.0%・11.1%)、7月(4.9%・3.7%)、10月(14.8%・6.2%)と4月に比べ7月・10月は、できていないと自己評価している者が減少していた(p<0.001・p<0.001)。このことから、学年当初に比べ、学生らしい髪色と自己評価するものが多くなっていることが分かった。

1年生と2年生を比較すると、設問「研究室等に入る時、ノックをし、返事を確認してから入室する」について、4月にi・iiと自己評価した者は、1年生で(26.2%・6.0%)、2年生では(4.9%・7.4%)となり、1年生に比べ2年生はできていないと自己評価している者が少なかった(p<0.001)。

設問「目上の人に敬語を使っている」について、10月にi・iiと自己評価した者は、1年生で(1.2%・10.7%)、2年生で(1.2%・4.9%)と2年生のほうができていないと自己評価している者が少なかった(p=0.005)。

以上の結果から、設問「髪の毛の色は染めていない」について2年生は4月に比べ7月ができていないと自己評価した者が多くなったのは、栄養士校外実習を控えていたこと、また10月は就職活動中であることが影響していると思われる。

## 2) 授業への取り組みに関する学年別・月別変化

表3-2に示すとおり、全体で見ると、授業に関する設問「授業開始前に、受講する体制になっている」・「携帯電話の電源は切って、バッグにしまっている」・「机の上(飲食物、バッグ等片付けてある)・授業中化粧をしない」・「トイレを済ませ、コート・マフラー・帽子等は脱いでいる」・「授業開始5分前に着席しておく」・「不必要なお喋りを慎んでいる」・「姿勢を正している・足を組んでいない」・「挨拶後に後片付けをしている」・「課題は期限を守っている」・「提出物は丁寧に記入している」・「グループ

ワークに積極的に参加している」において、全期間を通して約70%ができていないと自己評価していた。しかし、「予習をしている」についてi・iiと自己評価した者は、4月(45.5%・36.4%)、7月(36.4%・31.5%)、10月(37.0%・37.0%)で全期間を通してできていないと自己評価していた。

有意が認められた項目について見ると、設問「授業開始5分前に着席しておく」について、i・iiと自己評価した者は、4月(6.1%・20.0%)、7月(1.8%・11.5%)と減少し有意差が認められた(p=0.048)。

設問「姿勢を正している・足を組んでいない」について、iと自己評価した者は、4月(10.9%)、7月(1.8%)と自己評価しており、減少していた(p=0.01)。

設問「課題は期限を守っている」については、i・iiと自己評価した者は、4月(3.0%・7.9%)、7月(6.7%・15.2%)であり、できていないと評価している者が増加した。さらに、設問「提出物は丁寧に記入している」については、i・iiと自己評価している者は4月(1.8%・13.3%)に比べ10月(2.4%・1.2%)と4月に比べ10月は減少した。

以上のことから、4月に比べ10月で、提出物は丁寧に記入していたが、課題の期限を守らなくなったと自己評価したものが増加した。

1年生では、設問「授業開始前に、受講する体制になっている」・「携帯電話の電源は切って、バッグにしまっている」・「机の上(飲食物、バッグ等片付けてある)・授業中化粧をしない」・「トイレを済ませ、コート・マフラー・帽子等は脱いでいる」・「授業開始5分前に着席しておく」・「不必要なお喋りを慎んでいる」・「姿勢を正している・足を組んでいない」・「挨拶後に後片付けをしている」・「課題は期限を守っている」・「提出物は丁寧に記入している」・「グループワークに積極的に参加している」については全期間を通して70%がiii、ivと自己評価しているものが多かった。

設問「予習をしている」については、i、iiと自己評価している者が全期間を通して60~70%であった。

設問「課題は期限を守っている」については、iiiと自己評価した者が、4月(11.9%)に比べ7月(26.2%)、10月(23.8%)と増加していた(p=0.047・p=0.02)。

2年生では、設問「予習をしている」について、i、iiと自己評価している者が全体の約70%以上であった。4月(65.4%・25.9%)で合計して91.3%、7月(42.0%・29.6%)で合計71.6%、10月(40.7%・33.3%)で合計して74.0%であった。

さらにiiiと自己評価した者については、4月(4.9%)に比べ、7月(19.8%)、10月(16.0%)と増

表3.1 マナー(態度・言葉づかい、身だしなみ)に関する学年別・月別変化

	Q R P B	全体(n=165)			1年生(n=84)			2年生(n=81)			検定
		4月 実数 (%)	7月 実数 (%)	10月 実数 (%)	4月 実数 (%)	7月 実数 (%)	10月 実数 (%)	4月 実数 (%)	7月 実数 (%)	10月 実数 (%)	
学内で最初に会った時、「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」と言う	1	6 3.6	2 1.2	3 1.8	5 6.0	2 2.4	2 2.4	1 1.2	0 0.0	1 1.2	*1 0.017
	2	35 21.2	19 11.5	24 14.5	19 22.6	7 8.3	10 11.9	16 19.8	12 14.8	14 17.3	*2 0.017
	3	66 40.0	59 35.8	70 42.4	30 35.7	28 33.3	33 39.3	36 44.4	31 38.3	37 45.7	
	4	58 35.2	79 47.9	62 37.6	30 35.7	46 54.8	35 41.7	28 34.6	33 40.7	27 33.3	
学内で会った人に会釈をする	1	20 12.1	6 3.6	9 5.5	12 14.3	6 7.1	5 6.0	8 9.9	0 0.0	4 4.9	* p<0.001
	2	39 23.6	18 10.9	29 17.6	20 23.8	11 13.1	16 19.0	19 23.5	7 8.6	13 16.0	
	3	53 32.1	65 39.4	56 33.9	25 29.8	31 36.9	25 29.8	28 34.6	34 42.0	31 38.3	
	4	52 31.5	70 42.4	65 39.4	26 31.0	35 41.7	34 40.5	26 32.1	35 43.2	31 38.3	
研究室等に入る時、ノックをし、返事を確認してから入室する	1	26 15.8	3 1.8	3 1.8	22 26.2	2 2.4	3 3.6	4 4.9	1 1.2	0 0.0	*1 p<0.001
	2	11 6.7	9 5.5	13 7.9	5 6.0	4 4.8	8 9.5	6 7.4	5 6.2	5 6.2	*2 p<0.001
	3	28 17.0	37 22.4	34 20.6	9 10.7	20 23.8	13 15.5	19 23.5	17 21.0	21 25.9	*3 p<0.001
	4	85 51.5	106 64.2	108 65.5	34 40.5	53 63.1	55 65.5	51 63.0	53 65.4	53 65.4	*4 p<0.001
目上の人と友人に対して区別するよう心がけている	1	2 1.2	0 0.0	1 0.6	2 2.4	0 0.0	1 1.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	2	11 6.7	7 4.2	11 6.7	6 7.1	2 2.4	4 4.8	5 6.2	5 6.2	7 8.6	
	3	42 25.5	41 24.8	49 29.7	21 25.0	20 23.8	21 25.0	21 25.9	21 25.9	28 34.6	
	4	110 66.7	111 67.3	98 59.4	55 65.5	61 72.6	54 64.3	55 67.9	50 61.7	44 54.3	
目上の人に敬語を使っている	1	2 1.2	0 0.0	2 1.2	2 2.4	0 0.0	1 1.2	0 0.0	0 0.0	1 1.2	* 0.005
	2	12 7.3	8 4.8	13 7.9	5 6.0	5 6.0	9 10.7	7 8.6	3 3.7	4 4.9	*
	3	49 29.7	43 26.1	48 29.1	20 23.8	20 23.8	14 16.7	29 35.8	23 28.4	34 42.0	
	4	102 61.8	108 65.5	96 58.2	57 67.9	58 69.0	56 66.7	45 55.6	50 61.7	40 49.4	
学生として清潔な身だしなみにしている	1	4 2.4	5 3.0	6 3.6	2 2.4	4 4.8	5 6.0	2 2.5	1 1.2	1 1.2	* 0.041
	2	14 8.5	5 3.0	13 7.9	10 11.9	1 1.2	8 9.5	4 4.9	4 4.9	5 6.2	
	3	45 27.3	45 27.3	44 26.7	20 23.8	23 27.4	17 20.2	25 30.9	22 27.2	27 33.3	
	4	102 61.8	103 62.4	96 58.2	52 61.9	54 64.3	50 59.5	50 61.7	49 60.5	46 56.8	
髪の毛の色は染めていない	1	54 32.7	33 20.0	44 26.7	37 44.0	29 34.5	32 38.1	17 21.0	4 4.9	12 14.8	*1 0.004
	2	15 9.1	5 3.0	13 7.9	6 7.1	2 2.4	8 9.5	9 11.1	3 3.7	5 6.2	*2 p<0.001
	3	13 7.9	18 10.9	15 9.1	4 4.8	9 10.7	3 3.6	9 11.1	9 11.1	12 14.8	*3 p<0.001
	4	83 50.3	103 62.4	87 52.7	37 44.0	43 51.2	37 44.0	46 56.8	60 74.1	50 61.7	
爪は切って、マニキュアをして	1	2 1.2	0 0.0	2 1.2	2 2.4	0 0.0	2 2.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	2	6 3.6	4 2.4	5 3.0	4 4.8	2 2.4	3 3.6	2 2.5	2 2.5	2 2.5	
	3	20 12.1	21 12.7	15 9.1	11 13.1	9 10.7	3 3.6	9 11.1	12 14.8	12 14.8	
	4	137 83.0	134 81.2	137 83.0	67 79.8	72 85.7	72 85.7	70 86.4	62 76.5	65 80.2	

自己評価 1:全くできなかった。、2:1週間に1~2回実施した。、3:1週間に3~4回実施した。、4:毎日実施した。

表32 授業準備・授業への取り組みに関する学年初・月別変化

	全体(n=165)			1年生(n=84)			2年生(n=81)			検定
	4月 人数 (%)	7月 人数 (%)	10月 人数 (%)	4月 人数 (%)	7月 人数 (%)	10月 人数 (%)	4月 人数 (%)	7月 人数 (%)	10月 人数 (%)	
授業開始前に、受講する体制になっている	1 0 0.0 2 23 13.9 3 68 41.2 4 74 44.8	1 3 1.8 2 15 9.1 3 69 41.8 4 72 43.6	1 4 2.4 2 24 14.5 3 53 32.1 4 78 47.3	1 0 0.0 2 9 10.7 3 28 31.0 4 49 58.3	1 2 2.4 2 4 4.8 3 33 39.3 4 44 52.4	1 4 4.8 2 10 11.9 3 25 29.8 4 41 48.8	1 0 0.0 2 14 17.3 3 42 51.9 4 25 30.9	1 1 1.2 2 11 13.6 3 36 44.4 4 29 34.6	1 0 0.0 2 14 17.3 3 28 34.6 4 37 45.7	
携帯電話の電源は切って、バッグにしまっている	1 17 10.3 2 36 21.8 3 58 35.2 4 54 32.7	1 8 4.8 2 31 18.8 3 64 38.8 4 56 33.9	1 15 9.1 2 24 14.5 3 68 41.2 4 78 47.3	1 6 7.1 2 18 21.4 3 28 33.3 4 32 38.1	1 6 7.1 2 16 19.0 3 31 36.9 4 32 38.1	1 8 9.5 2 20 23.8 3 33 39.3 4 19 22.6	1 11 13.6 2 17 21.0 3 30 37.0 4 22 27.2	1 2 2.5 2 11 13.6 3 33 40.7 4 24 29.6	1 7 8.6 2 14 17.3 3 35 43.2 4 23 28.4	
机の上(飲食物、バッグ等片付けてある)・授業中化けさない	1 0 0.0 2 10 6.1 3 22 13.3 4 133 80.6	1 0 0.0 2 9 5.5 3 45 27.3 4 105 63.6	1 4 2.4 2 9 5.5 3 36 21.8 4 110 66.7	1 0 0.0 2 3 3.6 3 8 9.5 4 73 86.9	1 0 0.0 2 4 4.8 3 19 22.6 4 60 71.4	1 2 2.4 2 6 7.1 3 15 17.9 4 57 67.9	1 0 0.0 2 7 8.6 3 14 17.3 4 60 74.1	1 0 0.0 2 5 6.2 3 26 32.1 4 45 55.6	1 2 2.5 2 3 3.7 3 21 25.9 4 51 62.5	
トイレを済ませ、コート・マフラー・帽子等は脱いでいる	1 0 0.0 2 13 7.9 3 38 23.0 4 114 69.1	1 1 0.6 2 5 3.0 3 32 19.4 4 121 73.3	1 5 3.0 2 9 5.5 3 35 21.2 4 110 66.7	1 0 0.0 2 4 4.8 3 14 16.7 4 66 78.6	1 1 1.2 2 2 2.4 3 16 19.0 4 64 76.2	1 4 4.8 2 3 3.6 3 12 14.3 4 61 72.6	1 0 0.0 2 9 11.1 3 24 29.6 4 48 59.3	1 0 0.0 2 3 3.7 3 18 22.2 4 57 70.4	1 1 1.2 2 6 7.4 3 23 28.4 4 49 60.5	
授業開始( )分前に着席しておく	1 10 6.1 2 33 20.0 3 43 26.1 4 78 47.3	1 3 1.8 2 19 11.5 3 48 29.1 4 85 51.5	1 9 5.5 2 18 10.9 3 56 33.9 4 73 44.2	1 5 6.0 2 16 19.0 3 21 25.0 4 42 50.0	1 1 1.2 2 7 8.3 3 6 7.1 4 50 59.5	1 4 4.8 2 6 7.1 3 27 32.1 4 41 48.8	1 5 6.2 2 17 21.0 3 22 27.2 4 36 44.4	1 2 2.5 2 12 14.8 3 26 32.1 4 35 43.2	1 5 6.2 2 12 14.8 3 29 35.8 4 32 39.5	* 0.048
不必要なお喋りを慎んでいる	1 7 4.2 2 41 24.8 3 71 43.0 4 46 27.9	1 3 1.8 2 31 18.8 3 80 48.5 4 44 26.7	1 4 2.4 2 35 21.2 3 72 43.6 4 47 28.5	1 3 3.6 2 19 22.6 3 35 41.7 4 27 32.1	1 4 4.8 2 12 14.3 3 45 53.8 4 23 27.4	1 4 4.8 2 16 19.0 3 35 41.7 4 24 28.6	1 4 4.8 2 22 27.2 3 36 44.4 4 19 23.5	1 1 1.2 2 19 23.5 3 35 43.2 4 21 25.9	1 0 0.0 2 19 23.5 3 37 45.7 4 23 28.4	
姿勢を正している・足を組んでいない	1 18 10.9 2 48 27.9 3 57 34.5 4 44 26.7	1 3 1.8 2 48 27.9 3 62 37.6 4 48 28.1	1 11 6.7 2 31 18.8 3 66 40.0 4 51 30.9	1 10 11.9 2 18 21.4 3 23 27.4 4 33 39.3	1 2 2.4 2 22 26.2 3 29 34.5 4 30 35.7	1 7 8.3 2 13 15.5 3 30 35.7 4 30 35.7	1 8 9.9 2 28 34.6 3 34 42.0 4 11 13.6	1 1 1.2 2 24 29.6 3 33 40.7 4 18 22.2	1 4 4.9 2 18 22.2 3 36 44.4 4 21 25.9	*1 0.01 *2 0.001
挨拶後に後片付けをしている	1 10 6.1 2 34 20.6 3 63 38.2 4 58 35.2	1 5 3.0 2 32 19.4 3 74 44.8 4 48 29.1	1 9 5.5 2 37 22.4 3 65 39.4 4 47 28.5	1 6 7.1 2 14 16.7 3 30 35.7 4 34 40.5	1 3 3.6 2 19 22.6 3 35 41.7 4 27 32.1	1 8 9.5 2 19 22.6 3 29 34.5 4 24 28.6	1 4 4.8 2 20 24.7 3 33 40.7 4 24 29.6	1 2 2.5 2 14 17.3 3 39 48.1 4 21 25.9	1 1 1.2 2 18 22.2 3 36 44.4 4 23 28.4	
予習をしている	1 75 45.5 2 60 36.4 3 22 13.3 4 8 4.8	1 60 36.4 2 52 31.5 3 40 24.2 4 7 4.2	1 61 37.0 2 61 37.0 3 28 17.0 4 9 5.5	1 22 26.2 2 39 46.4 3 18 21.4 4 5 6.0	1 26 31.0 2 28 33.3 3 15 17.9 4 5 6.0	1 28 33.3 2 34 40.5 3 19 22.6 4 3 3.6	1 53 65.4 2 21 25.9 3 4 4.9 4 3 3.7	1 34 42.0 2 24 29.6 3 18 22.2 4 2 2.5	1 33 40.7 2 27 33.3 3 13 16.0 4 6 7.4	*1 0.009 *2 0.011
課題は期限を守っている	1 5 3.0 2 13 7.9 3 30 18.2 4 117 70.9	1 9 5.5 2 18 10.9 3 48 29.1 4 84 50.9	1 11 6.7 2 25 15.2 3 53 32.1 4 70 42.4	1 2 2.4 2 5 6.0 3 10 11.9 4 67 79.8	1 5 6.0 2 6 7.1 3 8 9.5 4 51 60.7	1 6 7.1 2 8 9.5 3 20 23.8 4 48 54.8	1 3 3.7 2 8 9.9 3 20 23.8 4 50 61.7	1 4 4.9 2 13 16.0 3 26 32.1 4 33 40.7	1 5 6.2 2 17 21.0 3 33 40.7 4 24 29.6	*1 0.009 *2 p<0.001 *3 0.047 *4 0.02 *5 0.001 *6 0.045
提出物は丁寧に記入している	1 3 1.8 2 22 13.3 3 52 31.5 4 88 53.3	1 3 1.8 2 21 12.7 3 58 33.9 4 78 47.3	1 4 2.4 2 2 1.2 3 51 30.9 4 76 46.1	1 3 3.6 2 8 9.5 3 22 26.2 4 51 60.7	1 2 2.4 2 9 10.7 3 26 31.0 4 45 53.6	1 4 4.8 2 15 17.9 3 19 22.6 4 50 50.0	1 0 0.0 2 14 17.3 3 30 37.0 4 37 45.7	1 1 1.2 2 12 14.8 3 30 37.0 4 33 40.7	1 0 0.0 2 13 16.0 3 32 39.5 4 34 42.0	* 0.002
グループワークに積極的に参加している	1 8 4.8 2 27 16.4 3 69 41.8 4 60 36.4	1 6 3.6 2 23 13.9 3 71 43.0 4 58 35.2	1 7 4.2 2 25 15.2 3 62 37.6 4 65 39.4	1 4 4.8 2 13 15.5 3 34 40.5 4 32 38.1	1 5 6.0 2 6 7.1 3 8 9.5 4 34 40.5	1 6 7.1 2 9 10.7 3 26 31.0 4 39 46.4	1 4 4.9 2 14 17.3 3 35 43.2 4 28 34.6	1 1 1.2 2 15 18.5 3 38 44.4 4 24 29.6	1 1 1.2 2 16 19.8 3 36 44.4 4 26 32.1	* 0.021

自己評価 1: 全くできなかった。 2: 1週間に1~2回実施した。 3: 1週間に3~4回実施した。 4: 毎日実施した。

表33 生活面に関する学年初・月別変化

	全体(n=165)			1年生(n=84)			2年生(n=81)			検定
	4月 人数 (%)	7月 人数 (%)	10月 人数 (%)	4月 人数 (%)	7月 人数 (%)	10月 人数 (%)	4月 人数 (%)	7月 人数 (%)	10月 人数 (%)	
3週間以上欠席を続けている	1 20 12.1 2 37 22.4 3 47 28.5 4 60 36.4	1 9 5.5 2 38 23.0 3 55 33.3 4 60 36.4	1 18 10.9 2 35 21.2 3 57 34.5 4 57 34.5	1 9 10.7 2 38 45.2 3 43 51.1 4 44 52.4	1 9 10.7 2 38 45.2 3 43 51.1 4 44 52.4	1 9 10.7 2 38 45.2 3 43 51.1 4 44 52.4	1 9 10.7 2 38 45.2 3 43 51.1 4 44 52.4	1 9 10.7 2 38 45.2 3 43 51.1 4 44 52.4	1 9 10.7 2 38 45.2 3 43 51.1 4 44 52.4	*1 0.02 *2 0.02
調査を行っている(電子・集物・枚・物の等の調査は除く)	1 24 14.5 2 18 10.9 3 33 20.0 4 90 54.5	1 16 9.7 2 29 17.6 3 40 24.2 4 90 54.5	1 16 9.7 2 29 17.6 3 40 24.2 4 90 54.5	1 16 19.0 2 32 38.4 3 40 48.1 4 81 96.4	1 16 19.0 2 32 38.4 3 40 48.1 4 81 96.4	1 16 19.0 2 32 38.4 3 40 48.1 4 81 96.4	1 16 19.0 2 32 38.4 3 40 48.1 4 81 96.4	1 16 19.0 2 32 38.4 3 40 48.1 4 81 96.4	1 16 19.0 2 32 38.4 3 40 48.1 4 81 96.4	*1 0.008 *2 0.019 *3 0.011
時間の余裕を持って行動している	1 15 9.1 2 29 17.6 3 48 29.1 4 72 43.6	1 15 9.1 2 40 24.2 3 64 38.8 4 72 43.6	1 15 9.1 2 40 24.2 3 64 38.8 4 72 43.6	1 15 17.9 2 32 38.4 3 40 48.1 4 81 96.4	1 15 17.9 2 32 38.4 3 40 48.1 4 81 96.4	1 15 17.9 2 32 38.4 3 40 48.1 4 81 96.4	1 15 17.9 2 32 38.4 3 40 48.1 4 81 96.4	1 15 17.9 2 32 38.4 3 40 48.1 4 81 96.4	1 15 17.9 2 32 38.4 3 40 48.1 4 81 96.4	* 0.007
授業が起きた時に知られている	1 9 5.5 2 34 20.6 3 68 41.2 4 52 31.5	1 9 5.5 2 34 20.6 3 68 41.2 4 52 31.5	1 9 5.5 2 34 20.6 3 68 41.2 4 52 31.5	1 9 10.7 2 38 45.2 3 43 51.1 4 44 52.4	1 9 10.7 2 38 45.2 3 43 51.1 4 44 52.4	1 9 10.7 2 38 45.2 3 43 51.1 4 44 52.4	1 9 10.7 2 38 45.2 3 43 51.1 4 44 52.4	1 9 10.7 2 38 45.2 3 43 51.1 4 44 52.4	1 9 10.7 2 38 45.2 3 43 51.1 4 44 52.4	
机の上の片付けを怠らなくて済んでいる	1 3 1.8 2 23 13.9 3 68 41.2 4 74 44.8	1 3 1.8 2 23 13.9 3 68 41.2 4 74 44.8	1 3 1.8 2 23 13.9 3 68 41.2 4 74 44.8	1 3 3.6 2 12 14.3 3 45 53.8 4 27 32.1	1 3 3.6 2 12 14.3 3 45 53.8 4 27 32.1	1 3 3.6 2 12 14.3 3 45 53.8 4 27 32.1	1 3 3.6 2 12 14.3 3 45 53.8 4 27 32.1	1 3 3.6 2 12 14.3 3 45 53.8 4 27 32.1	1 3 3.6 2 12 14.3 3 45 53.8 4 27 32.1	* 0.034

自己評価 1: 全くできなかった。 2: 1週間に1~2回実施した。 3: 1週間に3~4回実施した。 4: 毎日実施した。

表4 自己評価得点(マナー、授業準備・授業への取り組み、生活)

	全体						1年						2年					
	4月		7月		10月		4月		7月		10月		4月		7月		10月	
	M±	SD	M±	SD	M±	SD	M±	SD	M±	SD	M±	SD	M±	SD	M±	SD	M±	SD
マナー	25.2	5.7	26.3	7.3	25.4	7.5	24.8	4.7	27.1	4.6	25.5	7.2	25.6	6.5	25.4	9.2	25.3	7.7
授業への取り組み	36.4	7.8	35.5	10.5	34.7	10.8	38.6	5.5	38.0	7.3	35.3	10.6	34.1	9.0	33.0	12.5	34.1	11.0
生活	14.8	4.1	14.7	4.7	14.3	5.2	15.7	3.6	16.2	3.4	14.4	4.9	13.9	4.4	13.2	5.3	14.2	5.5
総合計	76.4	15.5	76.4	21.4	74.3	22.2	79.1	11.3	81.3	13.6	75.2	21.7	73.6	18.4	71.6	26.3	73.3	22.9

自己評価得点:「全くできない」:1点、「1週間に1~2日実施した」:2点、「1週間に3~4日実施した」:3点、「毎日実施した」:4点

加がみられた。

設問「課題は期限を守っている」について i・ii と自己評価している者は、4月(3.7%・9.9%)、10月(6.2%・21.0%)と、4月に比べ10月はできていないと自己評価している者が増加していた(p=0.001)。

1・2年生を比べると、設問「姿勢を正している・足を組んでいない」で iv と自己評価している者は、4月において1年生(39.3%)に比べ、2年生(13.6%)と、1年生のほうができていると自己評価している者が多かった(p=0.001)。

設問「課題は期限を守っている」で iii と自己評価している者は、4月において1年生は(11.9%)に比べ、2年生は(24.7%)と2年生のほうが iii と自己評価している者が多かった(p=0.045)。

「グループワークに積極的に参加している」について、10月に i と自己評価している者は、1年生(7.1%)、2年生(1.2%)と、1年生に比べ、2年生のほうが全くできていないと自己評価しているものがしている者が少なかった(p=0.02)。

表4に示す通り、「マナー(態度・言葉づかい・身だしなみ)・「授業準備・授業への取り組み」・「生活」について得点化し、総合計でみると、全学年・全期間を通して70~80点と自己評価しており、学年別月別の変化は見られなかった。

以上の結果から、授業への取り組みに関する項目は概ねできていると自己評価する者が多かった。予習についてはできていないと自己評価されていた。これは、学童期から訓練されていないことが反映され、授業への影響を及ぼしていると考えられる。また「グループワークに積極的に参加している」と自己評価している者は、2年生が多く、2年次では、実験・実習科目が多く、参加せざるを得ない状況からと思われる。

### 3) 生活面に関する学年別・月別変化

表3-3に示すとおり、全体で見ると、生活に関する

項目では、概ねできていると自己評価していた。

有意差のある項目をみると、1年生では、設問「朝食を摂っている(菓子・果物・飲み物等の単品は除く)」について、i と自己評価している者は、4月(14.3%)に比べ、7月(7.1%)、10月(13.1%)と7月は減少したものの、10月は増加した(p=0.019・p=0.011)。

1年生と2年生の設問「3食規則正しく食事をしている」・「朝食を摂っている(菓子・果物・飲み物等の単品は除く)」を比較すると、設問「3食規則正しく食事をしている」では i と自己評価している者は4月(1年7.1%・2年17.3%) ii と自己評価している者は7月(1年14.3%・2年32.1%)で1年生の方が規則正しい食事がとられていると自己評価している。

設問「朝食を摂っている(菓子・果物・飲み物等の単品は除く)」では、ii と自己評価している者は4月(1年3.6%・2年18.5%)と設問「3食規則正しく食事をしている」と同様に1年生の方が規則正しい食事がとられていると自己評価している。

以上の結果から、有意差が見られないものの、食事に関する項目について1年生は、4月に比べ10月は学生生活に慣れてきたこともあり、国民栄養調査<sup>8)</sup>と同様な傾向が見られる。

### まとめ

今回、短大生の社会性およびモラルを習得させるための試みとして自己評価を実施した。その結果は以下の通りである。

本専攻は、栄養士の資格を取得するために、事業所・病院・福祉施設(高齢者・児童)等の施設において栄養士校外実習を行っている。実習先で指摘されることは、栄養士としての実習の取り組み以前の要求が多くなってきている。つまり、基本的な生活習慣である言葉遣い、態度、体調管理、施設対象者や職員との関わりや問題解決能力である。

今回、学生は各項目について概ねできているという

自己評価をしていた。一方、できないと自己評価していた項目は、1・2年生とも「予習をしている」のみであった。

教員に対して10月中旬に「マナー（態度・言葉づかい・身だしなみ）」・「授業準備・授業への取り組み」・「生活」について質問したところ、4月に比べ「マナー」については学内での常識があるとの記述が多かったが、「授業準備・授業への取り組み」に関しては、良好な状況であるとの記述はほとんどみられなかった。つまり、学生の自己評価と教員の評価とは、大きく違いがあった。

今後は、さらに社会で貢献できる人材の育成に取り組む姿勢が必要であると思われる。そのため特に授業に関する項目については、詳細に検討し直して指導していく必要がある。

#### 参考文献

- 1) 西平直喜, 成人になること, 東大出版会, 東京 (1990)
- 2) 白井利明, 大人へのなりかた, 新日本出版社, 東京 (2003)
- 3) 三浦芳助, 学生の成長度を測る, 全栄施協月報 569号 p5~6 (2008)
- 4) 岡田瑞穂, 女子短大生のマナー意識について (1), 信愛女子短期大学紀要34, 1-8 (2002)
- 5) 岡田瑞穂, 女子短大生のマナー意識について (1), 信愛女子短期大学紀要35, 1-8 (2003)
- 6) 奥田和子, 現代若者における食事マナーの意識と変容, 甲南女子大学研究紀要23, 183-199 (1986)
- 7) 山本紀久子, 社会的マナー家庭教育 (きまりを守る子〈特集〉-家庭教育ときまり), 児童心理, 48 (16), 1609-1613 (1994)
- 8) 健康・栄養情報研究会編, 厚生労働省, 平成18年国民健康栄養の現状, p67, 第一出版, 東京 (2009)